

# AGENDA

【環境省 | ブルームバーグ L.P. 共催セミナー】

## 「E(環境)から見る ESG 投資の最新動向 ～日本企業の環境情報を投資家はどう活用すべきか～」

2016 年 8 月 29 日(月) | 16:00 – 17:50

AGENDA (日英同時通訳付き)

15:30 受付開始

16:00-16:10 開会のご挨拶

- 環境省 総合環境政策局長 奥主 喜美
- ブルームバーグ L.P. 在日代表 石橋 邦裕

16:10-16:30

基調講演「ESG のグローバルトレンド」

ブルームバーグ L.P. サステナブル・ファイナンス  
プロダクトストラテジー責任者 レノラ・スキ

16:30-16:40

「環境情報開示基盤整備事業のご紹介」

株式会社 NTT データ経営研究所 シニアマネージャ  
環境情報開示基盤整備事業 事務局 大塚 俊和

16:40-17:50

パネルディスカッション:

「E(環境)から見る ESG 投資の最新動向

～日本企業の環境情報を投資家はどう活用すべきか～」

モデレーター

- 株式会社大和総研 調査本部 主席研究員 河口 真理子 氏

パネリスト

- ニッセイアセットマネジメント株式会社  
チーフ・コーポレート・ガバナンス・オフィサー 井口 譲二 氏
- 上智大学経済学部 教授 上妻 義直 氏
- 東京海上ホールディングス 経営企画部部長 兼 CSR 室長 長村 政明 氏
- 環境省 総合環境政策局 環境経済課長 奥山 祐矢
- ブルームバーグ L.P. サステナブル・ファイナンス  
プロダクトストラテジー責任者 レノラ・スキ



# SPEAKER PROFILE

(講演順)



**レノラ・スキ CFA、CAIA、LEED AP**  
ブルームバーグ L.P. サステナブル・ファイナンス プロダクトストラテジー責任者

ブルームバーグ・サステナブル・ファイナンス部門においてプロダクトストラテジーを統括。ブルームバーグの ESG(環境・社会・ガバナンス)プロダクト、および全アセットクラスにわたるサステナブル・ファイナンスに対する取り組みの拡大に注力し、顧客が総合的な投資機会やリスクへの理解を深められるよう支援する。現在は債券・不動産・PE(プライベートエクイティ)関連プロジェクトに携わる。また、グリーンボンド、ソーシャルボンド、インパクト投資やデータサイエンス・アプリケーションをはじめとした、フィランソロピーにプロダクトストラテジーが融合する部門でイニシアチブを取る。ブルームバーグ入社前には、新興市場における低所得者向け住宅・都市再生顧問会社、スマートシティ・アドバイザーズ(Smart Cities Advisors)を設立。2002年には、コロンビア大学地球研究所にて持続可能な開発の顧問を担当するアソシエイト・ディレクターに就任。サンタンデル・インベストメントにて地域債券ストラテジスト、OFFITBANK(現ウェルズ・ファーゴ)にて新興市場アナリストを歴任したほか、世界銀行にて財務局・欧州・中央アジア、民間セクター開発の各部門で勤務した経験も持つ。マサチューセッツ工科大学スローン経営学大学院で経営学修士号を、ポモナ・カレッジ(政治学)とヒューストン大学(経済学)で学位号を、それぞれ取得。ジェシー・スミス・ノイエス財団にて金融・投資開発委員を務める。CFA(CFA協会認定証券アナリスト)、CAIA(認定オルタナティブ投資アナリスト)、LEED AP(LEED認定プロフェッショナル)の各資格も保有する。



**大塚 俊和 氏**  
株式会社NTTデータ経営研究所 社会・環境戦略コンサルティングユニット シニアマネージャー

商社、フランス最大のインフラ企業ビィベンディ(現ベオリア)勤務を経て、2001年より現職。気候変動、水、生物多様性など、ESG情報による外部格付け評価向上に関するコンサルティングを、多くの上場企業へ提供。



**河口 真理子 氏**  
株式会社大和総研 調査本部 主席研究員

1986年一橋大学大学院修士課程修了、同年大和証券入社。94年に大和総研に転籍、企業調査を経て2010年大和証券グループ本社CSR室長～広報部CSR担当部長。2011年7月より大和総研に帰任、2012年4月より調査本部 主席研究員。担当分野はサステナブル投資、CSR、ソーシャルビジネス、エシカル消費。国連グローバル・コンパクト・ジャパンネットワーク理事、NPO法人・社会的責任投資フォーラム共同代表理事。アナリスト協会検定会員、サステナビリティ日本フォーラム評議委員他。著書「ソーシャルファイナンスの教科書」生産性出版、SRI「社会的責任投資入門」日本経済新聞社(共著)、「CSR 企業価値をどう高めるか」日本経済新聞社(共著)など。



Ministry of the Environment

Bloomberg

# SPEAKER PROFILE



**井口 譲二 氏**  
ニッセイアセットマネジメント株式会社 チーフ・コーポレート・ガバナンス・オフィサー  
株式運用部担当部長(投資調査室)、ESG 推進室長

1988年、大阪大学経済学部卒業。日本生命入社後、ニッセイ基礎研究所でマクロ経済予測業務に従事。2000年、ニッセイアセットマネジメントに入社。金融・素材セクターのアナリスト、投資調査室長を経て現職。ICGN理事(2015～)、日経アニュアルレポート審査委員(日経新聞2007～)、「企業のダイバーシティ経営・人材戦略の在り方検討会」(経済産業省2016～)、「持続可能性を巡る課題を考慮した投資に関する検討会」委員(環境省2015～)、「持続的な価値創造に向けた投資の在り方検討会」(経済産業省2015～)、IR優良企業表彰委員(日本IR協議会2012～)、「ICGN監査・会計委員会」委員(2014～)、統合報告書「翻訳レビュー作業部会」委員(2014)、IIRC実務研究会(2014～)、日本証券アナリスト協会企業会計委員(2012～)、企業会計基準委員会専門委員(企業結合)(2012～)、企業報告研究会企画委員(経産省プロジェクト2013～)、情報開示基盤事業WS委員(環境省)(2014～)、なでしこ銘柄選定基準委員会委員(2014～)、年金SRI研究会委員(年金シニアプラン総合研究機構、2013)、等を務める。主な著書に、『財務諸表利用者はIR情報をどう評価するか』(企業会計、2013年7月号)、『非財務情報(ESGファクター)が企業価値に及ぼす影響』(証券アナリストジャーナル、2013年8月号)、『ストーリーのあるコーポレートガバナンス』(商事法務、2014年4月15日号)、『ステewardシップとコーポレートガバナンス:二つのコードが変える日本の企業・経済・社会』(共著、東洋経済、2015年1月)、『コーポレートガバナンス・コードの実践』(共著、日経BP、2015年4月)、『機関投資家のコーポレートガバナンス・コードに対する期待』(商事法務、2015年5月25日号)、『企業報告の潮流と非財務情報の開示』(会計・監査ジャーナル、2015年5月)、『ダブルコード時代の機関投資家の取り組みについて』(商事法務、2016年5月25日号)



**上妻 義直 氏**  
上智大学経済学部教授

上智大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得後、名古屋工業大学助手、オランダ・リンパーク研究所客員研究員、静岡県立大学助教授、上智大学経済学部助教授を経て現在に至る。環境省、経済産業省、国土交通省、農林水産省、内閣府、日本公認会計士協会等のCSR・環境関係の審議会、検討会・研究会等で座長・委員等を歴任。専門は非財務報告論、環境会計論。



**長村 政明 氏**  
東京海上ホールディングス 経営企画部部長 兼 CSR 室長

東京海上ホールディングス 経営企画部部長 兼 CSR 室長(2011年8月～)。保険業界組織ジュネーブ協会・巨大災害と気候リスクWGメンバー。国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)「持続可能な保険原則(PSI)」起草(2012年6月)に参画。前場所は東京海上米国支店・シカゴ駐在員(1997～2004年)。



**奥山 祐矢 氏**  
環境省 総合環境政策局 環境経済課長

1993年に環境庁(当時)に入庁。以来、23年間にわたり環境政策の立案と調整に携わっており、最近では、地球環境局市場メカニズム室長(2012年～)、原子力規制庁広報室長(2013年～)などの職務に従事。2015年8月より現職で、税制のグリーン化、環境金融及び企業の環境経営の促進、グリーン調達の普及などを統括。

